

2006年2月26日 主日礼拝



### 石の枕

それは朝のラッシュアワーの中央線の中でした。四谷のカトリックの小学校へ通う二人の女の子が、のんびり綾とりをしているのです。満員電車の中で、そこだけぼっかり光が射しているような、あたたかみのあるような、別世界をつくっていました。駅につくたびに、どっと人の流れがあっても、そんなことには気もとめず、二人は楽しくてたまらないかのように、かわいい声をあげて指を動かしているのです。まわりの大人の方が足をふんばりながら、二人が手を動かせるスペースをつくっているかっこうでした。

ところが二人は、まわりの大人に守られているなどと思いもしないで、むしろ大人にもたれながら綾とりに夢中です。壁のようにまわりをかこむ大人にくらべて、小さく弱々しいのに、そのことを少しも苦にせず、悲しまず、いま自分の置かれているその場所で、力いっぱい自分を表現しきっているのです。生き生きと生きているのです。

ほのぼのとしたこの描写は、藤尾正人先生のもの。何度読んでも、こちらに暖かい、穏やかな何かを伝えてくれます。私の大好きな文のひとつです。

時々、ICA(カルバリーチャペル立の学校)の子どもたちの屈託のない笑い声やたわむれにふれると、こちらまでが幸せになります。

イエスさまが「幼な子のようにならなければ天国に入れません」と言われたとき、このようなほのぼのをキャッチされたからでしょうか。

日常生活の中で、無邪気が壊され、邪気が幅を利かせるのには涙が出ます。聖霊なる神様は、ご人格(ペルソナ)をおもちで、非常に繊細なお方である、とベニーヒン師が注意を促されておられたことを思い出します。

聖霊さまを悲しませたり、憂いしめたりしないようにしたいものです。毎日、瞬時瞬時、「聖霊さま！心から歓迎します！お認めします。ご一緒してください！」と申し上げましょう。鈍感さは、罪です。

**宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう！**

**Aコース:マルコ6章~10章 Bコース:民数記16章~33章**

司会 小田茂兄 竹中兄 鷲沢兄  
奏楽  
祈禱 石橋兄 久保田兄 川村師

賛美 聖歌481番 (すべてに感謝しよう！)  
(アーメン)

#### 使徒信条

聖書 ヨハネによる福音書7章37~39節  
マルコによる福音書6章35~44節

音楽 森&泉の仲間s  
佐藤由紀姉

メッセージ 「受けようとしている」 倉知契副牧師  
「スーパーキッズの育て方」 大川従道牧師

賛美 (献金)「愛と賛美み父にささげ」  
主の祈り  
祝禱

「もろもろの国民を楽しませ、また喜び歌わせてください。」。(詩篇六十七の四)

#### 【大和ニュース】

- ・ 本日4時からの「宴会礼拝」は、人間劇場(佐佐木ジョシュア師)・福音漫才(滝山兄と弟)聖書のお話し(倉知師)。5時15分終了予定。ご期待下さい。
- ・ 本日、洗礼準備会、学生会、青年会、アブラハム会、モーセ会、ルツ会コスモス組、ゴスペル、ジョイフル、責任役員会(2時)等あり。
- ・ 今週も祈禱会を大切にしましょう！聖餐式もなされます。出席に努力を！
- ・ 伝道礼拝は、火曜昼2時~3時。説教は小崎師。「知っていると得する法則」。
- ・ 準備祈禱会は、金曜夜9時~10時半。説教は川村副牧師。
- ・ 英語礼拝は、土曜夜7時半~8時40分。説教は、J・オースティン師(FMラジオ持参)。
- ・ 「VIP武蔵小杉」は、明晩7時。「ホテルザエルシィ」にて。お祈り下さい。